

資料展示

大正・昭和群馬人物伝(社会編)

期間:平成18年1月25日(水)～2月26日(日) 場所:群馬県立図書館3階展示コーナー

群馬県立図書館では、群馬県関連の郷土資料を重点的に収集、利用提供、保存に努めており、これらの中から、特色ある地域資料を幅広く紹介しています。

今回の資料展示では、「大正・昭和群馬人物伝(社会編)」と題し、大正・昭和期に政治・経済等の分野で活躍した群馬県に關係する人物を中心に關連する資料を展示します。

展示資料について

本展示は、關連の図書・雑誌・視聴覚資料等の一端を紹介するもので、全ての資料等を網羅的に紹介するものではありません。ここに展示した88点の資料は、所蔵資料の一部です。

展示資料のうち、「+」記号の付いたものは郷土資料です。通常は2階調査相談室の郷土資料コーナーにあり、いつでも閲覧できます。複本がある場合には、展示期間中でも貸出のできるものがあります。「*」記号の付いたものは、通常は貸出可能な一般資料です。

なお、展示されていない所蔵資料のことや展示資料の貸出等のご相談は、2階調査相談室で受け付けておりますので、お申し付けください。

○群馬生まれの3人の首相

福田 赳夫 1905～1995 旧群馬町出身、第67代総理大臣

総理在職 714日(昭和51年12月24日～昭和52年12月7日)

- 1 福田赳夫 果して救世主となるか?
河野幸之助/著 日本時報社 1966. 5
- + 2 福田赳夫のすべて 日本が最も必要とする政治家
山田純/著 国会通信社 1975. 6
- 3 評伝 福田赳夫
浦田進/著 国際商業出版 1978. 11
- 4 福田内閣総理大臣演説集
内閣総理大臣官房/監修 日本広報協会 1980. 3
- + 5 福田政権・七一四日
清宮龍/著 行政問題研究所 1984. 5
- + 6 小説 角福戦争 強いリーダーの条件
浅川博忠/著 時事通信社 1996. 7
- * 7 歴史劇画 大宰相 第7巻 福田赳夫の復讐
さいとう・たかを/著 戸川猪佐武/原作 講談社 1999. 10

中曽根康弘 1918～ 高崎市出身、第70～73代総理大臣

総理在職 1,806日(昭和57年11月27日～昭和62年11月6日)

- + 8 宰相 中曽根康弘 -内閣総理大臣への足跡-
小林正雄/編 伊勢新聞社 1985. 8
- 9 中曽根政権・一八〇六日 上
牧太郎/著 行研 1988. 4
- 10 中曽根政権・一八〇六日 下
牧太郎/著 行研 1988. 9
- + 11 政治と人生 中曽根康弘回顧録
中曽根康弘/著 講談社 1992. 7
- + 12 天地有情 五十年の戦後政治を語る
中曽根康弘/著 文藝春秋 1996. 9
- + 13 中曽根康弘の肖像
蛭田有一/著 求龍堂 1999. 10
- * 14 歴史劇画 大宰相 第10巻 中曽根康弘の野望
さいとう・たかを/著 戸川猪佐武/原作 講談社 1999. 110

小淵 恵三 1937～2000 中之条町出身、第84代総理大臣

総理在職 616日(平成10年7月30日～平成12年4月5日)

- + 15 小淵恵三・全人像
後藤謙次/著 行研 1991. 2
- + 16 石油と砂漠と人間と 文化と経済から中東を語る
小淵恵三対談集 上毛新聞社 1996. 12
- + 17 凡宰伝
佐野眞一/著 文藝春秋 2000. 5
- + 18 小淵恵三の615日。 第84代内閣総理大臣の全公務記録
K・O・K/編 光進社 2000. 5

- + 19 追悼 小淵恵三
追悼小淵恵三編纂委員会／編 経済政策懇話会 2001. 5

○政治・社会の分野で活躍した人々

鈴木貫太郎 1867～1948 大阪府出身、第42代総理大臣・海軍大将
総理在職 133日（昭和20年4月7日～8月17日）

- 20 鈴木貫太郎自伝
鈴木貫太郎／著 桜菊会 1949. 10
+ 21 終戦時宰相 鈴木貫太郎 昭和天皇に信頼された海の武人
小松茂朗／著 光人社 1995. 10
* 22 日本のいちばん長い日 運命の八月十五日
大宅壮一／編 文藝春秋新社 1965. 8

阿部真之助 1884～1964 埼玉県出身、ジャーナリスト・評論家

毎日新聞記者を退職後、親戚を頼り群馬に疎開。その間上毛新聞論説委員等をつとめた。

- 23 人間と社会
阿部真之助／著 三省堂 1940. 7
24 恐妻 知られざる阿部真之助
阿部幸男・阿部玄治／著 冬樹社 1965. 7

岡部 栄信 1886～1965 富岡市出身、社会事業家

若い頃から多くの著作物を著し、小作人や若者の大衆教化を行う。丹生村長もつとめた。

- + 25 至善の人 岡部栄信
田村貞男、山崎益吉／著 まほそ会 2002. 10

内山岩太郎 1890～1971 前橋市出身、外交官・政治家

外交官として、アルゼンチン特命全権公使等を歴任の後、神奈川県知事をつとめた。

- + 26 反骨七十七年 内山岩太郎の人生
神奈川新聞社 1968. 8

東宮 鉄男 1892～1937 旧宮城村出身、軍人

満州国軍政務部顧問として満州国軍の建設ならびに満州国内の治安に功績を残す。

- 27 満州開拓の父 東宮大佐と加藤完治
石原文雄／著 潮文閣 1944. 5

高良 とみ 1896～1993 富山県出身、政治家

「養蚕新論」を著した田島弥平の孫。日本女子大教授、参議院議員をつとめた。

- * 28 非戦を生きる 高良とみ自伝
高良とみ／著 ドメス出版 1983. 3
* 29 世界的にのびやかに 高良とみの行動的生涯
高良留美子／編 ドメス出版 2003. 9

島田 豊作 1912～1988 館林市出身、軍人

山下奉文の指揮するマレー作戦に戦車隊中隊長として従軍。

- + 30 サムライ戦車隊長 島田戦車隊奮戦す
島田豊作／著 光人社 1984. 4

岩佐 直治 1915～1941 前橋市出身、軍人

真珠湾攻撃の際、特殊潜行艇で出撃するが戦死。真珠湾の九軍神のひとり。

- 31 特別攻撃隊 軍神岩佐中佐物語
村田亨／著 清水書房 1942. 6
* 32 真珠湾の九軍神 「歴史への招待 27」
日本放送出版協会 1983. 11
+ 33 命を捨てて 一軍神岩佐中佐一
船津信章／編著 有信館群馬支部 1986. 12

品川 博 1916～1999 富士見村出身、社会事業家

靴磨きで資金を作り、「鐘の鳴る丘・少年の家」を設立。

- + 34 光の中を歩む子ら
品川博／著 少年の家後援会 1967. 12
+ 35 愛と勇気の鐘 孤児たちに一生をささげる品川博の愛の奇跡
藤崎康夫／著 くもん出版 1987. 11
36 鐘の鳴る丘
品川博／著 わらの会 1988. 11

田辺 誠 1922～ 前橋市出身、政治家

県議を経て、衆議院議員当選。社会党書記長等を歴任し、社会党委員長をつとめた。

- + 37 理想の世界を射る クリスマン政治家・田辺誠の半生
田辺誠／著 廣済堂出版 1996. 12

石原 信雄 1926～ 旧境町出身、官界人

昭和62年から平成7年まで内閣官房副長官をつとめた。

- + 38 まあ、いろいろありまして
石原信雄／著 日本法制学会 1995. 2

- + 3 9 官邸2668日 政策決定の舞台裏
石原信雄／著 日本放送出版協会 1995. 5
- 高木仁三郎 1938～2000 前橋市出身、科学者・社会運動家
原子力資料情報室設立に参加し、脱原子力社会の実現のために東奔西走の日々をおくる。
- + 4 0 もんじゅ事故の行きつく先は？
高木仁三郎／著 岩波書店 1996. 4
- + 4 1 希望の未来へ 市民科学者・高木仁三郎の生き方
七つ森書館編集部／編 七つ森書館 2004. 10

○経済の分野で活躍した人々

- 今泉嘉一郎 1867～1941 勢多郡東村出身、実業家・工学博士
官立八幡製鉄所勤務の後、日本鋼管を設立。また、衆議院議員もつとめた。
- 4 2 工学博士 今泉嘉一郎伝
今泉博士伝記刊行会 1943. 7
- 井上保三郎 1868～1938 高崎市出身、実業家
井上工業を創業し、高崎の発展に帰依。白衣大観音像の建立に尽力。
- + 4 3 高崎白衣観音のしおり ー大観音建立秘話ー
横田忠一郎／著 あさを社 1984. 6
- + 4 4 井上保三郎 ー地域における産業資本家の成立ー
熊倉浩靖／著 1988. 7
- 正田貞一郎 1870～1961 横浜市出身、実業家・政治家
館林製粉(株)(現在の日清製粉)を設立。美智子皇后陛下の祖父。
- 4 5 正田貞一郎小伝
正田貞一郎小伝刊行委員会／編 日清製粉 1965. 10
- 前原悠一郎 1873～1962 桐生市出身、実業家・教育者
桐生燃糸合資会社(後の日本絹燃株式会社)創立に参加し、日本の燃糸業に貢献。
- 4 6 古稀祝賀記念 前原悠一郎翁伝
前原悠一郎翁伝記編纂会 1944. 3
- 野間 清治 1878～1938 桐生市出身、実業家
講談社を設立し、社長として手腕を発揮。全国に雑誌ブームを起こす。
- 4 7 体験を語る
野間清治／著 大日本雄弁会講談社 1930. 6
- 4 8 出世之礎
野間清治／著 大日本雄弁会講談社 1930. 12
- + 4 9 雑誌王 野間清治伝
関豊作／著 新聞解放社 1931. 9
- + 5 0 野間清治伝 ー日本の雑誌王ー
野間清治顕彰会 2001. 3
- + 5 1 「仕事の達人」の哲学 野間清治に学ぶ運命好転の法則
渡部昇一／著 致知出版社 2003. 12
- * 5 2 雑誌王 野間清治(上州再発見)
ビデオカセット 群馬県教育委員会
- 石原米太郎 1882～1961 大間々町出身、実業家
特殊製鋼(株)を創立。日本の「特殊鋼の父」といわれた。
- 5 3 石原米太郎回想録
石原米太郎回想録編修委員会 1963. 3
- 高橋 清七 1884～1942 前橋市出身、書店経営者
父親の死後、家業の書店「煥乎堂」を継ぎ、株式会社設立により初代社長に就任。
- 5 4 野褐 高橋清七氏追悼号
清痴会編集部／編 煥乎堂 1943. 7
- 中島知久平 1884～1949 旧尾島町出身、政治家・実業家
中島飛行機製作所を設立。また、衆議院議員もつとめ、鉄道大臣、商工大臣等を歴任。
- 5 5 正義は遂に勝てり
野依秀市／編 秀文閣書房 1939. 6
- + 5 6 中島知久平 軍人、飛行機王、大臣の三つの人生を生きた男
高橋泰隆／編 日本経済評論社 2003. 6
- 5 7 飛行機王・中島知久平
豊田穰／著 講談社 1992. 10
- + 5 8 日本の飛行機王 中島知久平
渡部一英／著 光人社 1997. 5
- * 5 9 はばたけ、夢、大空に・・・ 飛行機王 中島知久平伝
ビデオカセット 群馬県尾島町
- 山崎 種二 1893～1983 吉井町出身、実業家
米相場で成功し、山種証券(現SMBCフレンド証券)を設立。

- 60 そろばん
山崎種二／著 日本経済新聞社 1972. 9
- +61 山種証券50史話
山種証券五十史話編集委員会／編 山種証券 1984. 4
- +62 相場の偉人 山崎種二伝
筆内幸子／著 善本社 1985. 8
- 63 山崎種二 その生涯と事業
尾崎芳雄／編 山種グループ記念出版会 1989. 7
- 井上房一郎 1898～1993 高崎市出身、実業家・工芸家
井上保三郎の長男。ブルーノ・タウトらと親交を結び、工芸家としても活動する。
- +64 私の美と哲学
井上房一郎／著 あさを社 1985. 2

○教育・思想の分野で活躍した人々

- 住谷 天来 1869～1944 旧群馬町出身、宗教家・キリスト教社会主義者
「萬朝報」記者となり、日清・日露戦争に際し、非戦論を展開。住谷悦治は甥。
- 65 孔子及孔子教
住谷天来／著 新生堂 1935. 6
- +66 住谷天来と住谷悦治
住谷一彦他／著 みやま文庫 1997. 6
- 角田 柳作 1877～1964 赤城村出身、教育者
コロンビア大にアメリカ初の「日本文化研究所」を創立。ドナルド・キーンらを輩出。
- +67 角田柳作先生 アメリカに日本学を育てた上州人
柳井久雄／著 上毛新聞社 1994. 11
- 68 ニューヨークの一人の日本人 一我が師、角田柳作先生のこと
ドナルド・キーン（「文藝春秋」昭和37年5月号より）
- 井上 日召 1886～1967 本名昭、川場村出身、右翼指導者
右翼団体「血盟団」を結成し、「一人一殺」を掲げたテロを計画。
- 69 日本精神に生よ
井上日召／著 改造社 1934. 10
- 70 日召自伝
井上日召／著 日本週報社 1947. 12
- *71 昭和の原点 一人一殺に生きた井上日召
横地尚／著 行政通信社出版部 1971. 3
- *72 血盟団事件 井上日召の生涯
岡村青／著 三一書房 1989. 12
- 住谷 悦治 1895～1987 旧群馬町出身、経済学者
同志社大教授として経済史を専攻。同志社大総長もつとめた。
- 73 回想の住谷悦治
住谷一彦・住谷馨 1993. 7
- 斎藤 喜博 1911～1981 玉村町出身、教育者
島小学校長（旧境町）在職中に実践した教育法が全国的に注目された。
- 74 可能性に生きる 小学教師三十七年の実践記録
斎藤喜博／著 文藝春秋 1966. 12
- +75 斎藤喜博抄
武田常夫／著 筑摩書房 1989. 12
- 76 斎藤喜博の仕事と夢
本間明信／著 明治図書 1994. 6

○昭和史に影を落とす2大事件

- ・大久保清事件
窃盗や強姦、恐喝等の前歴のあった大久保清が、府中刑務所を出所した1971年3月から逮捕される5月にかけて、8名の女性を殺害し、死体を造成地等に遺棄した事件。
- 大久保 清 1935～1976 高崎市出身
- +77 訣別の章 大久保清さん獄中手記
大島英三郎／編 黒色戦線社 1992. 9
- +78 完全自供 殺人魔大久保清 v.s. 捜査官
飯塚訓／著 講談社 2003. 3
- ・連合赤軍事件
連合赤軍は、1971年に誕生した新左翼武装テロ組織。榛名山中に拠点を作り活動するが、同志12名を総括と称して殺害（山岳ベース事件）。1972年逮捕を逃れた者らがあさま山荘事件を起こす。
- 79 「連合赤軍」事件 これが”リンチ大量殺人”の実態だ
「週刊朝日」 1972. 3. 24号

森 恒夫 1944～1973 大阪府出身、連合赤軍中央委員会委員長
山岳ベース事件の中心人物。逮捕後東京拘置所にて自殺。

* 80 赤い雪 総括・連合赤軍事件
角間隆／著 読売新聞社 1980. 2

永田 洋子 1945～ 東京都出身、連合赤軍中央委員会副委員長
山岳ベース事件の中心人物。現在、死刑確定囚として東京拘置所在監。

* 81 十六の墓標 上 炎と死の青春
永田洋子／著 彩流社 1982. 9

* 82 十六の墓標 下 炎と死の青春
永田洋子／著 彩流社 1983. 2

* 83 続十六の墓標 連合赤軍敗北から十七年
永田洋子／著 彩流社 1990. 2

坂口 弘 1946～ 千葉県出身、連合赤軍中央委員会書記長
あさま山荘事件実行犯の1人。現在、死刑確定囚として東京拘置所在監。

+ 84 あさま山荘1972 上
坂口弘／著 彩流社 1993. 4

+ 85 あさま山荘1972 下
坂口弘／著 彩流社 1993. 5

+ 86 続あさま山荘1972
坂口弘／著 彩流社 1995. 5

坂東 国男 1947～ 滋賀県出身

あさま山荘事件実行犯の1人。「超法規的措置」により出国。現在、国際手配中。

* 87 永田洋子さんへの手紙 『十六の墓標』を読む
坂東国男／著 彩流社 1984. 11

吉野 雅邦 1948～ 東京都出身

あさま山荘事件実行犯の1人。現在、無期懲役囚として千葉刑務所に服役。

* 88 氷の城 連合赤軍事件・吉野雅邦ノート
大泉康雄／著 新潮社 1998. 3